女子中高生の理系進路選択支援プログラム（大学等と連携した科学技術人材育成活動の実践・環境整備支援）

平成２７年度予算額：15百万円
（平成２６年度予算額：15百万円）
運営費交付金中の推計額

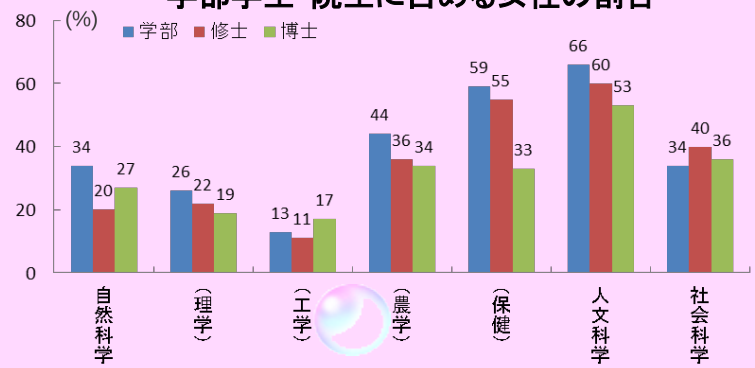
女性研究者の積極的な採用・登用を促進するための取組に加え、女子児童・生徒に向けて理系分野に対する興味や関心を喚起する取組の強化が必要。

課題

- 女性が科学技術分野に進む上での参考となる身近な事例が乏しく、女性が研究者等をめざす上で将来像が描きにくい。
- 自然科学系の学部・大学院に占める女性の割合は、人文・社会科学に比べて非常に低い。

進路選択の参考になる身近な事例、
ロールモデル等の情報の提供！

学部学生・院生に占める女性の割合



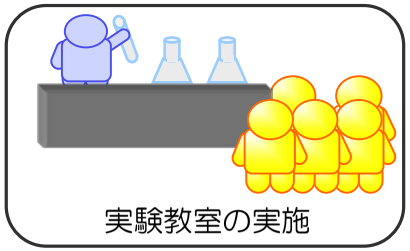
※平成26年度学校基本調査より作成

女子中高生の理系進路選択支援プログラム

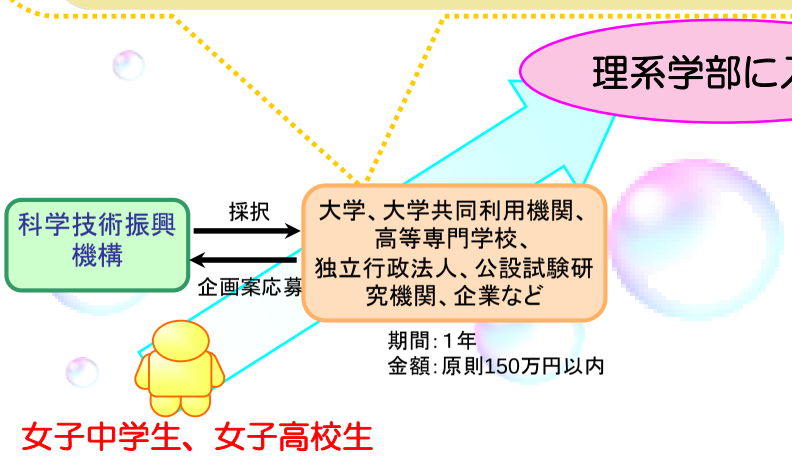
科学技術分野で活躍する女性研究者・技術者、大学生等と女子中高生の交流機会の提供や実験教室、出前授業の実施等、女子中高生の理系進路選択を支援する取組を実施する。

取組例

女性研究者・技術者による
ロールモデルの提示



実験教室の実施



（参考）いのちを支える医理系研究って、やってみたい！

女性研究者のキャリアと研究内容についての講演、臨床手技の体験等を通じて、医理系分野の多様性や研究の面白さ、女性の活躍を示すことにより、医理系進路選択の意識を醸成する。

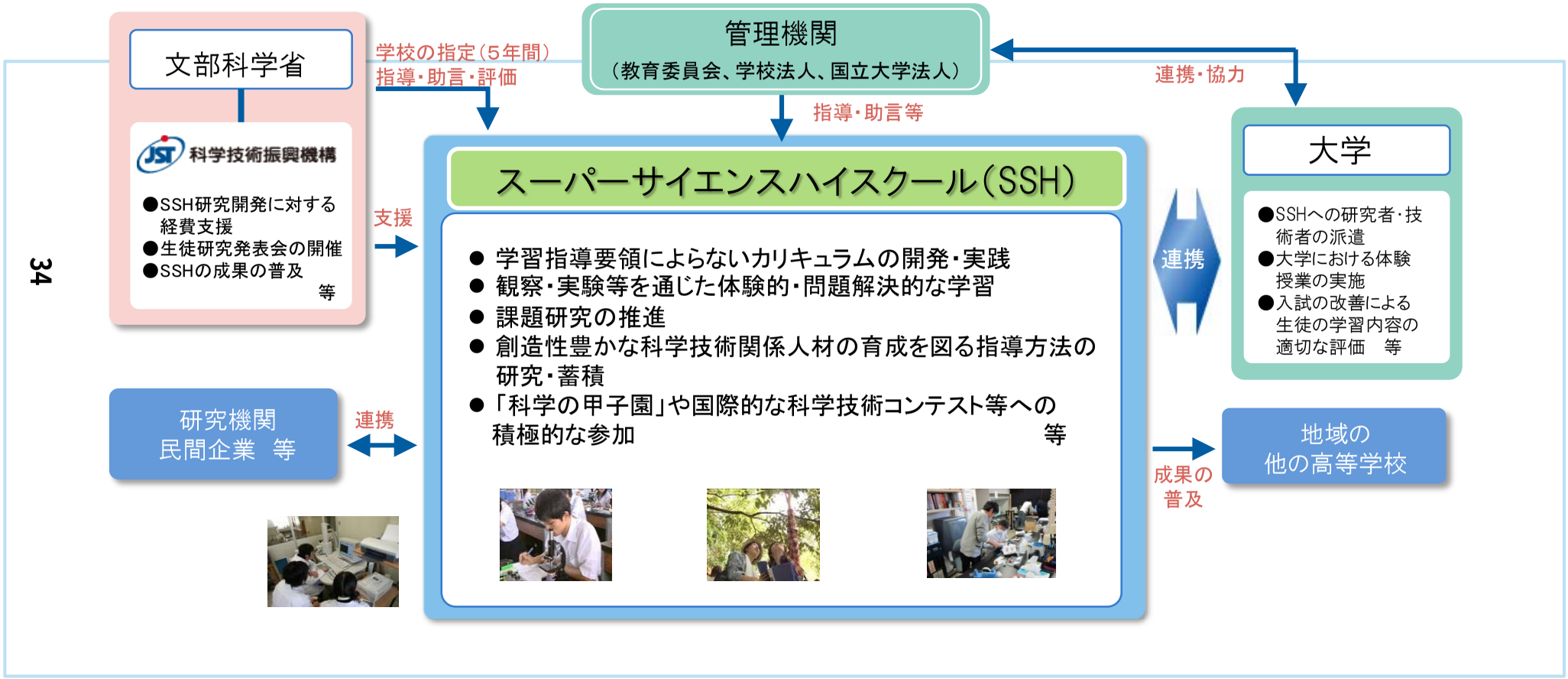
（実施機関：奈良県立医科大学）

【別添２　記入様式】

「女性活躍加速のための重点方針 2015」該当箇所	
大項目	２，社会の課題解決を主導する女性の育成
中項目	（１）科学技術イノベーション立国を支える女性の理工系人材等の育成
小項目	②　理工系に進学を希望する女性の機会拡大を図るため、（中略）。 併せて、高等教育において理工系を志望する女性人材の増加を図るため、スーパーサイエンスハイスクールにおける女子生徒に対する理工系教育に関する好事例の収集や他の高校等への情報提供を行う。
該当施策名 （事業名）	スーパーサイエンスハイスクール
該当施策の背景・目的	将来の国際的な科学技術関係人材を育成することを目的として、平成 14 年度から実施。
該当施策の政策手段の分類	Ａ 法令・制度改正 Ｂ 税制改正要望 Ｃ 予算 27 年度予算：　２，３６１百万円 ※内数である場合はその旨記載。 28 年度要求方針：　新規　拡充　継続 ※該当するものに○をしてください。 Ｄ 機構定員要求 Ｅ その他（具体的に：　　）
該当施策概要	先進的な理数系教育を実施する高等学校等をスーパーサイエンスハイスクール（SSH）として指定し、学習指導要領によらないカリキュラムの開発や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を支援する。
問い合わせ先 部局課	文部科学省 科学技術・学術政策局人材政策課

スーパーサイエンスハイスクール支援

平成２７年度予算額　　：2,361百万円
※運営費交付金中の推計額

概要

将来の国際的な科学技術関係人材を育成するために、先進的な理数系教育を実施する高等学校等をスーパーサイエンスハイスクール（SSH）として指定して支援を実施